

「いのち」

秀句

藤原一志 選

地球儀の裏も表も血の匂い

辻 弘志

木本朱夏 選

背な丸め春の芽吹きを待ついのち

石田 竜

佳句 十句

藤原一志 選

木本朱夏 選

- 受け継いだいのちよく泣きよく眠る  
鶴本むねお
- 主張する軽いのちを抱きしめて  
鶴本むねお
- 肋骨にいのちを削る音ひびく  
鈴木 陽子
- 腹水も足のむくみもさするだけ  
鈴木 陽子
- 炊き出しの湯気につないでいる命  
岩佐ダン吉
- ゆるゆると枯れるいのちか晩菊よ  
小山 紀乃
- 今を生きる重たいのち引っ提げて  
小井 和子
- 寒風に耐えたいのちがほらそこに  
森村 美花
- 曾孫抱く卒寿に重き宝物  
東谷 郁
- 握る手を握り返してきた命  
米田 恭昌
- シーシェパードに命の尺度尋ねたい  
河津寅次郎
- 一本の鉛筆あれば書くいのち  
毛利 元子
- 沈黙の柩を包む星条旗  
岡谷よし子
- 神様に聞いた生まれてきた理由  
桂 晶月
- 守るべき命を国に奪われる  
吉川 卓
- 貫いた命が問うている歴史  
萩原三四郎
- 草食系のいのちもいいな平和なら  
杉野 睦朗